



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月13日

上場会社名 アンドール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4640 URL http://www.andor.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)栗原高明
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)埜 勝宏 (TEL)03(3419)3011
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	1,353	5.5	129	△6.8	133	△6.5	89	△15.4
30年3月期第2四半期	1,283	△0.4	138	198.3	143	176.4	106	353.9

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 89百万円(△31.7%) 30年3月期第2四半期 131百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	17.37	—
30年3月期第2四半期	20.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	2,559	1,921	75.1
30年3月期	2,516	1,847	73.4

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 1,921百万円 30年3月期 1,847百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,650	3.7	275	3.0	280	2.7	200	2.8	38.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	5,184,140株	30年3月期	5,184,140株
31年3月期2Q	6,289株	30年3月期	6,289株
31年3月期2Q	5,177,851株	30年3月期2Q	5,177,866株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、原油価格の高騰、米中の貿易摩擦による世界経済の下振れリスク等により、不透明感を増す状況を呈しております。

このような状況のもと、当社グループは、独自のソリューションで主に日本の代表的な基幹産業の自動車・重工業・精密機器や電気機器等の設計の礎となるCAD設計から、アプリケーションソフト開発、カスタマイジング、保守運用に至るまで総合エンジニアリングサービスで多様化するお客様のニーズにお応えする事業を推進しております。

当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高は1,353,457千円（前年同期比5.5%増）となりましたが、営業利益が129,019千円（前年同期比6.8%減）、経常利益は133,784千円（前年同期比6.5%減）となりました。

法人税、住民税及び事業税45,883千円、法人税等調整額△4,032千円等を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は89,950千円（前年同期比15.4%減）となりました。

セグメントごとの業績は下記のようにしております。

I プロダクツ事業

自社の開発商品であるソフトウェア、附帯するハードウェア機器を販売し、導入・保守・運用・受託開発を行っております。

パッケージソフト開発・販売としては、2次元CADソフト「CADSUPER」ならびに「CADSUPER Lite」、3次元CADシステム「CADSUPER Works」、2.5次元CAMソフト「CAMCORE EX」等のCAD/CAM関連製品を主力製品として取り扱っております。

システム商品販売としては、自社開発製品をベースに他社との協業でのトータルソリューション製品を販売し、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案営業を行っております。

導入運用サービスとしては、自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

受託開発としては、自社CADソフトのカスタマイジングを始め、当社の3D技術を活かしたソフトウェア開発を行っております。

自社製品売上高については堅調に推移したものの、管理コスト増等による影響もあり、この事業の売上高は328,585千円（前年同期比2.2%増）となり、経常利益は62,492千円（前年同期比9.3%減）となりました。

II エンジニアリング事業

業務系・制御系・LSI設計・回路設計・機械設計等の豊富な経験を持つ技術者が、ソフトウェア開発からアウトソーシング・技術者派遣まで、多方面にわたる設計サービス分野において、総合エンジニアリングサービスを行っております。

技術者工数の確保により売上高は堅調な推移となったものの、人件費の増加に伴い、この事業の売上高は1,012,781千円（前年同期比6.5%増）となり、経常利益は64,543千円（前年同期比6.4%減）となりました。

III 不動産事業

不動産の賃貸料を売上高に計上しております。

不動産稼働率の向上により、この事業の売上高は12,090千円（前年同期比16.7%増）となり、経常利益は6,748千円（前年同期比31.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少（1,128,758千円から1,105,556千円へ）23,202千円等があったものの、受取手形及び売掛金の増加（370,600千円から385,999千円へ）15,399千円、預け金の増加（146,190千円から168,042千円へ）21,851千円、ソフトウェア仮勘定の増加（3,113千円から38,040千円へ）34,926千円等により、前連結会計年度末に比べ43,005千円増加の2,559,295千円となりました。

負債は、賞与引当金の増加（66,537千円から77,970千円へ）11,432千円、退職給付に係る負債の増加（220,114千円から225,534千円へ）5,419千円等があったものの、未払法人税等の減少（85,006千円から47,167千円へ）37,838千円、前受金の減少（102,257千円から96,257千円へ）5,999千円、その他（流動負債）の減少（134,160千円から129,051千円へ）5,108千円等により、前連結会計年度末に比べ31,445千円減少の637,575千円となりました。

純資産は、配当金の総額15,533千円等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上89,950千円により、前連結会計年度末に比べ74,451千円増加の1,921,719千円となり、自己資本比率は75.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月18日公表の「平成30年3月期 決算短信 [日本基準] (連結)」をご参照ください。業績予想の修正はありません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来の予想に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,128,758	1,105,556
受取手形及び売掛金	370,600	385,999
商品及び製品	330	330
仕掛品	3,203	7,001
貯蔵品	5,806	6,560
預け金	146,190	168,042
その他	40,441	47,241
流動資産合計	1,695,331	1,720,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	116,123	114,280
土地	189,346	189,346
その他（純額）	3,506	4,588
有形固定資産合計	308,976	308,214
無形固定資産		
ソフトウェア	112,149	85,349
ソフトウェア仮勘定	3,113	38,040
その他	3,219	3,219
無形固定資産合計	118,483	126,610
投資その他の資産		
投資有価証券	280,584	286,613
破産更生債権等	698	698
長期貸付金	50	20
繰延税金資産	94,039	98,408
その他	26,050	25,921
貸倒引当金	△7,923	△7,923
投資その他の資産合計	393,499	403,738
固定資産合計	820,958	838,564
資産合計	2,516,289	2,559,295

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,862	51,883
未払法人税等	85,006	47,167
前受金	102,257	96,257
賞与引当金	66,537	77,970
その他	134,160	129,051
流動負債合計	439,824	402,330
固定負債		
役員退職慰労引当金	7,030	7,732
退職給付に係る負債	220,114	225,534
その他	2,051	1,978
固定負債合計	229,197	235,245
負債合計	669,021	637,575
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,889	501,889
利益剰余金	1,295,421	1,369,838
自己株式	△1,910	△1,910
株主資本合計	1,795,401	1,869,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,867	51,901
その他の包括利益累計額合計	51,867	51,901
純資産合計	1,847,268	1,921,719
負債純資産合計	2,516,289	2,559,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	1,283,062	1,353,457
売上原価	928,976	978,951
売上総利益	354,085	374,505
販売費及び一般管理費	215,606	245,485
営業利益	138,479	129,019
営業外収益		
受取利息	266	244
受取配当金	3,520	4,026
固定資産賃貸料	702	477
雑収入	135	106
営業外収益合計	4,623	4,854
営業外費用		
支払利息	76	81
雑損失	1	8
営業外費用合計	78	89
経常利益	143,025	133,784
特別利益		
投資有価証券売却益	13,813	2,526
特別利益合計	13,813	2,526
特別損失		
投資有価証券売却損	-	4,509
特別損失合計	-	4,509
税金等調整前四半期純利益	156,839	131,801
法人税、住民税及び事業税	53,913	45,883
法人税等調整額	△3,387	△4,032
法人税等合計	50,526	41,850
四半期純利益	106,313	89,950
親会社株主に帰属する四半期純利益	106,313	89,950

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	106,313	89,950
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,522	34
その他の包括利益合計	25,522	34
四半期包括利益	131,835	89,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131,835	89,984

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	156,839	131,801
減価償却費	29,063	33,400
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,200	702
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12,341	5,419
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,803	11,432
受取利息及び受取配当金	△3,786	△4,271
支払利息	76	81
投資有価証券売却損益(△は益)	△13,813	1,983
売上債権の増減額(△は増加)	19,989	△15,399
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,076	△4,551
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,921	△937
未払消費税等の増減額(△は減少)	6,038	△5,082
前払費用の増減額(△は増加)	△5,372	△4,413
その他の資産の増減額(△は増加)	△35,073	△24,167
その他の負債の増減額(△は減少)	15,779	△7,539
小計	180,687	118,457
利息及び配当金の受取額	3,786	4,271
利息の支払額	△76	△81
法人税等の支払額	△27,323	△80,787
営業活動によるキャッシュ・フロー	157,073	41,860
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,138	△4,308
無形固定資産の取得による支出	△32,237	△37,019
投資有価証券の取得による支出	△8,688	△57,698
投資有価証券の売却による収入	34,748	49,384
貸付金の回収による収入	30	30
その他	13,896	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△390	△49,627
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△21	-
配当金の支払額	△15,077	△15,434
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,099	△15,434
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	141,583	△23,202
現金及び現金同等物の期首残高	853,037	1,128,758
現金及び現金同等物の四半期末残高	994,620	1,105,556

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリング事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	321,430	951,276	10,356	1,283,062	1,283,062
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	321,430	951,276	10,356	1,283,062	1,283,062
セグメント利益	68,915	68,966	5,143	143,025	143,025

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリング事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	328,585	1,012,781	12,090	1,353,457	1,353,457
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	328,585	1,012,781	12,090	1,353,457	1,353,457
セグメント利益	62,492	64,543	6,748	133,784	133,784

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

- ① 第1四半期連結累計期間より、当社グループの主要な経営管理指標を営業利益から経常利益に変更したことに伴い、セグメント利益を営業利益から経常利益に変更しております。
- ② 従前よりエンジニアリング事業に計上しておりました受託売上に係る損益につきましては、当社の組織改編に伴い、プロダクツ事業に組み替えて表示しております。

なお、上記①②の変更に伴い、当第2四半期連結累計期間と同一の基準をもって、前第2四半期連結累計期間のセグメント表示を変更しております。